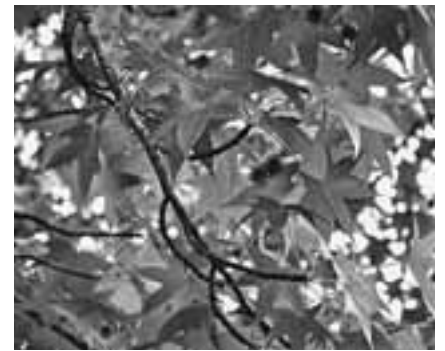
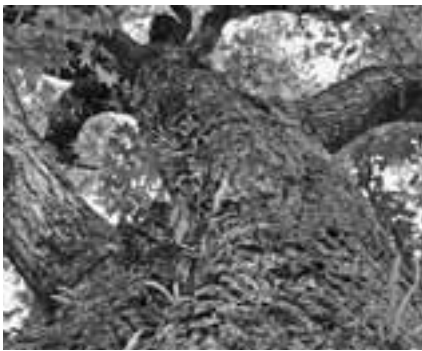


# 木の風景

木の風景 [81]

やな場のモミジ

所在地：豊内



## オオモミジ <大紅葉>

カエデ科カエデ属 [落葉高木]

豊内の上豊内樋門下にあるやな場の水辺には、清流のせせらぎにそよぐモミジがある。

やな場は、1633（寛永10）年、熊本の領主・細川忠利公が鵜ノ瀬堰（ぜき）工事を視察したとき、緑川に群がるアユを見て捕る方法を尋ねたところ、

甲佐の住人・田上次郎右衛門盛重がやなによる方法を説明し、そのときの命で造られたと伝えられる。

毎年6月1日のアユ漁解禁と同時にやな開きが行われ、風流なあずまやでのアユ料理に多くの人々が訪れる。

### <説明>

イロハモミジの変種で、山地の谷間などによく生える。高さ10～13メートルにな

り、樹皮は灰褐色。葉は直径7～11センチと大きく、基部は心形で、掌状に7～9裂する。裂片は楕円形または長楕円状披針形で幅が広く、先端は尾状にややとがるか、急に突き出る。縁には細かくそろった鋸歯がある。

4～5月に開花する。雄花と両性花がある。翼果は長さ約2センチでほぼ水平に開く。果皮は木質化して固い。

広報

# こうさ

2010年（平成22年）6月号  
通巻491号

今月の表紙

5月16日（日）に開催された宮内梅まつりでの収穫した梅の選別作業のひとつコマ。山積みになった梅を一つひとつ丁寧に選別。